

環境影響評価方法書に関する質問等 (仮称)新潟関川風力発電事業 東急不動産株式会社

No	員委	分類1	分類2	質問・意見	回答
1	池田	工事計画	工事用道路	工事用道路の幅や新設が計画されているが、道路の配置及び変更される土地の規模が示されていないので配置図などを用いて示してほしい。	本事業計画は現状、現地測量等の実施前段階であり、対象事業実施区域における具体的な取付道路の配置や変更内容につきましては、今後測量や現況調査等に基づき詳細設計を行い、準備書以降で具体的にお示しさせていただきます。
2	江成	工事計画	資材運搬	1日あたりミキサー車は200台、また大型部品の輸送に1基あたり1日最大5台の車両×11基=55台の計255台の車(大型車)の通行に耐えられる道路なのか、説明してください。	工事関係車両の通行及び大型部品の輸送については、現状、支障物の有無の観点から通行可能な想定ルート案をお示しております。 今後、公共道路につきましては道路管理者と相談・協議を行い具体の工事計画・輸送計画を決定していく予定です。対象事業実施区域に新設する作業道につきましては林地開発等の許可の相談・協議にて地耐力の対応を検討してまいります。
3	東	工事計画	電気工事	変電所から風力発電機までの送電線は架線または地下埋設とありますが、そのどちらかによって、環境影響評価の方法は変わりませんか。	風力発電機から変電設備(方法書 図2.2-4)までの送電線は架線又は地下埋設を予定しており、環境影響評価の対象としております。 今後、変電設備までの送電線について、架線又は地下埋設による環境影響を踏まえて詳細設計を行い、その結果を準備書以降でお示してまいります。
4	江成	工事計画	用水、排水、残土	a)工事用用水の調達先は可能な限り早く決めてください。調達先によっては環境の配慮が必要な場合もあります。 b)近年の極端な気象に耐えられる排水の処理を考えてください。特に、素掘り側溝で大丈夫なのか(①大雨で洗掘が大きくなったりしないか、②林道が持ちこたえられるのか、③林道が壊れたら修理するのか、④素掘り側溝は工事が終わったらどうするのか)、説明してください。 c)沈砂池の設置はどこにするのか、場所が重要なので示してください。 d)残土の量や、その処分地の位置は、近年の極端な気象を想定するととても重要な事項です。その量や位置を提示する必要があると考えます。(残土の欄に書くべき事項であれば移動させてください)	a)今後の設計・工事計画の中で検討してまいります。 b)今後の設計の中で林地開発の許可の相談・協議の際にも素掘り側溝が適切なのかどうかも含めて、地点ごとの特性を踏まえて検討してまいります。林道は工事後も風車設備他の管理で利用する予定のため、排水設備を含め適切に維持・管理してまいります。 c)今後の現地測量や現況調査等による詳細設計を踏まえて沈砂池の設置位置を検討し、準備書以降でお示しさせていただきます。 d)本計画地は地形の特性上、ご指摘の点は特に重要な事項と認識しております。今後の現地測量や現況調査等による詳細設計を踏まえまして準備書以降でお示しさせていただきます。
5	江成	設備の配置計画	送電線	a)電気の供給先が未定のまま事業を進める理由を述べてください。現時点でも未定なのか、それとも、関東圏あるいは東北圏、甲信越圏という範囲で答えられるのであれば、答える方が住民の理解は得られると思います。 b)供給先が未定のまま送電線の範囲は決定できるのか説明してください。	a)電気の供給先につきましては、風力発電所の所在自治体であります関川村の地域新電力などと協議を開始しております。再エネ電気の地産地消と余剰電力の活用という観点で今後検討を進めてまいります。 b)地域の需要家に電力を供給するケース、遠隔地に電力を供給するケースともに東北電力ネットワーク株式会社の送電線(系統)へ接続することとなりますので、送電線の範囲については検討可能です。なお、具体的送電線ルートにつきましては今後の設計の中で検討してまいります。

環境影響評価方法書に関する質問等 (仮称)新潟関川風力発電事業 東急不動産株式会社

No	員委	分類1	分類2	質問・意見	回答
6	伊藤	大気環境	騒音、振動	1日当たりのミキサー車の走行台数が最大200台程度を予想しているのですが、当該地域にはなかった交通量になるかと思えます。排気、騒音、振動等の周知や配慮をお願いします。	工事用資材等の搬出入による騒音・振動による影響に関して、方法書図 6.2-1に記載しております工事関係車両の走行が集中する地点で調査、予測及び評価を実施してまいります。 また、工事工程の調整等により、工事関係車両台数の平準化に努める等の環境保全措置を講じるとともに、工事の実施に当たっては、周辺住民の皆様事前に工事の内容等を周知させていただきます。
7	根本	大気環境	気象概況	気象庁アメダスデータが記載されており、平均風速は弱めだが、対象地では風力発電に十分な風速が得られるか。 また対象地(設置予定地)付近で別途風速観測等を実施する予定はあるか。	方法書においては地域の気象状況として気象庁HPから平均気温や平均風速を記載しております。風力発電事業の検討段階の風速につきましては、方法書 7.2-9に記載しております配慮書段階のNEDOの「局所風況マップ」による地上高70mの風況のデータを踏まえたもので、地域の平均風速よりも高い値でございます。 また現在、対象事業実施区域内で別途風況観測を実施しております。
8	江成	大気環境	騒音及び低周波音	3 調査地域について、配慮書の段階では風車から2km以下の範囲に存在する住宅を想定しているが、超低周波の論文を読むと(超低周波の影響については賛否両論であるが)おおよそ2.5kmの範囲まで影響があると述べている論文も存在し、その範囲となると小国町の住宅地も含まれるので、小国町玉川地区等、2.5kmの範囲までの住宅も調査対象としてください。 5 調査期間等で、悪天候の場合、過小評価する可能性もあるので、天候によってはもう少し調査時間を延ばす必要があると考えます。	方法書 4.3-5は配慮書時の予測及び評価の結果を引用しており、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」(風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会、平成28年)において、住宅等、風車騒音により人の生活環境に環境影響を与えるおそれがある地域に関して、「発電所省令では、発電所一般において環境影響を受ける範囲内と認められる地域は、事業実施想定区域及びその周囲1kmの範囲内としている。」と記載されていることから、安全側として事業実施想定区域から2.0kmの範囲を予測地域に設定しておりました。 本方法書では、騒音及び超低周波音の調査地点を図 6.2-1に記載しており、配慮書の記載基準に比してより広域な範囲を対象とし、風力発電機設置予定位置から2.5kmの範囲に位置する小国町玉川地区に調査地点(騒音5)を設定しております。 調査期間について、なるべく荒天時を避けて設定いたしますが、天候によって調査時間を延長いたします。
9	江成	大気環境	騒音及び低周波音	可視領域を考慮した地点と考慮していない地点で、何が異なるのか説明してください。 小国町の住宅地は11号機から2.2kmと近いのにも関わらず、可視領域ではないため、2.5km地点で調査する理由を説明してください。	騒音の予測にあたっては、地形による回折等の影響も考慮して設定しております。風力発電機設置予定位置から小国町内の最寄り住宅までの距離は2.2kmですが、地形による影響を考慮し、風力発電機設置予定位置から可視範囲に位置する住宅を調査地点に設定しております。
10	根本	大気環境	風況	「b. 風況条件の確認」において、「6.1 m/sの年平均風速を観測」とあるが、この値(図 7.2.4)は観測ではなくNEDOの数値シミュレーションによるものではないのか。もしそうであれば推定値などと明記すべき。	局所風況マップ(NEDO)の値は数値シミュレーションによるもので、推定値と明記いたします。
11	伊藤	水環境	用水、排水	方法書ではあるものの未定や検討といった表記がやや多く、次回までには具体的な策が盛り込まれてほしい。	今後、現地調査で得られた結果により、本事業による影響を適切に予測及び評価を実施し、その結果に応じて具体的な環境保全措置を検討してまいります。

環境影響評価方法書に関する質問等
 (仮称)新潟関川風力発電事業 東急不動産株式会社

No	員委	分類1	分類2	質問・意見	回答
12	伊藤	水環境	水質調査地点	荒谷沢側が大変急斜面であるようです。工事などに伴い荒谷沢へ土砂が流れ込まないよう配慮をお願いします。荒谷沢が荒川に合流する箇所に浮遊物質量及び流れの状況を調査することは不可能でしょうか。合流近くのダム付近で良いと思います。	水質調査地点の設定にあたっては、調査に必要な一定の水量の確保並びに安全を確保した上で人のアクセスが可能な場所を選定しております。合流近くのダム付近では荒川の水流が混合しており、荒谷沢の上流側においては、安全に調査を実施できる場所がないため、水質調査地点として設定しておりません。
13	東	水環境	水質調査地点	表6.2-1の8. 予測地点において、設置する沈砂池との記述があるが、どこに設置するのでしょうか。具体的に示されていません。 表6.2.2の水質調査地点には、東側に近接する「荒谷沢」についての調査地点がありません。魚類・底生動物調査では、荒谷沢から荒川に流入する手前に調査地点が設定されています。設定根拠としては同じではありませんか。	沈砂池の設置位置については、今後の現地測量や現況調査等による詳細設計を踏まえて検討し、準備書以降でお示しさせていただきます。 水質調査地点の設定にあたっては、調査に必要な一定の水量が確保される降雨時にも調査を実施するため、採水時の安全性を確保できる場所を選定しております。 魚類・底生動物調査は、荒天時の調査を避けることで安全性の確保ができるため荒谷沢沿いに調査地点(W11)を設定しておりますが、降雨時の水質調査においては、荒谷沢沿いの踏査は滑落の危険性が存在し、安全性を確保できないため、荒谷沢から荒川に流入する地点について、水質調査地点として設定しておりません。
14	内田	水環境	水質調査地点	沈砂池のおおよその場所や個数と排出口の方向について教えてください。	今後の現地測量や現況調査等による詳細設計を踏まえて沈砂池の設置位置を検討し、準備書以降でお示しさせていただきます。
15	本山	その他の環境	地形、地質	土壌・地形・地質に関して山形県への影響はほとんどないと思われる。	畏まりました。
16	江成	その他の環境	地形、地質	図3.1-11の地形分類図が不明瞭なので、明瞭なものに差し替えてください。とくに地滑り地形が見づらいです。	ご意見を踏まえ、別添資料1のとおり修正いたしました。
17	江成	その他の環境	地形、地質	4調査地点で、対象事業実施のうち改変を想定する地点を、調査地点としているが、風車を尾根に設置する時点で、斜面中部や下部にも影響があると思いますが、その地点の調査をしない理由を説明してください。	今後、航空レーザー測量及び微地形解析により対象事業実施区域全体の地すべり地形を把握してまいります。 また、方法書段階ではお示ししておりませんが、準備書では本事業において土地を改変する区域(改変区域)をお示しいたしますので、その改変区域において現地確認踏査を実施してまいります。
18	江成	その他の環境	風車の影	200mの差で外れてしまっていますが、小国町の玉川地区は風車の影はかからないか、説明してください。	本事業の風車の影の予測範囲について、「風力発電所の環境影響評価のポイントと参考事例」(環境省総合環境政策局、平成25年)を参考にし、風車の影が発生するとされる風力発電機のローター直径の10倍の範囲とする事例や海外の風力発電所のアセスの事例から、風力発電機から2.0kmの範囲を予測範囲として設定しております。 本事業で想定される風力発電機の高さは、現段階ではローター直径が最大130mとなっており、ローター直径の10倍を用いた場合の予測範囲は1.3kmとなり、より安全側となるよう2.0kmの範囲を予測範囲に設定しております。 小国町玉川地区への風車の影による影響について、予測範囲としている2.0kmの範囲外となるので、風車の影による影響はほとんどないと考えてお

環境影響評価方法書に関する質問等
 (仮称)新潟関川風力発電事業 東急不動産株式会社

No	員委	分類1	分類2	質問・意見	回答
19	池田	動物	希少猛禽類	<p>文献や前倒しの現地調査では希少猛禽類が12種確認されており、事業実施区域や周辺区域が行動域であることは確実である。確認された希少猛禽類には国の天然記念物のイヌワシも含まれており、丁寧な調査が求められるが、天候等を考慮すると計画している調査日数では少ないのではないか。</p> <p>また、調査手法には、地域の鳥類保護団体などの聞き取り調査や意見交換を入れてほしい。</p>	<p>調査日数について、「猛禽類保護の進め方」(環境省、平成24年)、「ダム事業におけるイヌワシ・クマタカの調査方法(改訂版)」(ダム水源地環境整備センター、平成21年)等を参考にして設定しておりますが、実施にあたっては天候等に留意して調査を計画してまいります。</p> <p>また、地域の鳥類保護団体への聞き取り等を行い、調査の手法に反映してまいります。</p>
20	東	動物	鳥獣保護区	<p>鳥獣保護区内に予定されている1基は、保護区外にすることは検討されなかったのでしょうか。</p> <p>当該鳥獣保護区の指定期間が令和6年10月31日までであり、更新されるかどうかわからない状況を見越してのことですか。</p>	<p>指定期間が令和6年10月31日までであることを見越しての配置ではございません。鷹の巣鳥獣保護区は、落葉広葉樹林帯で多様な鳥獣が生息しており、当該地域に生息する鳥獣の保護を図るとの目的から鳥獣保護区に指定されておりますので、今後実施する動植物の現地調査において生息・生育状況を把握し、その結果をもとに予測・評価を行い、風力発電機の設置位置を含む事業計画を検討してまいります。</p>
21	江成	動物	調査・予測・評価の手法	<p>踏査ルートは図上に書かれているものもありますが(哺乳類はないですが)、それぞれ踏査距離はどの程度になるでしょうか。調査努力量が示されないとなかなか判断できません。</p>	<p>現時点では調査実施前であり、踏査距離がどの程度になるか現時点では回答は難しいですが、変更が想定される尾根や取付道路を中心に、対象事業実施区域内をできるだけ網羅的に踏査する考えです。特に両爬虫、植物の踏査調査では湿った環境や重要種の確認位置等の把握が重要と考えますので、それらの点に十分留意し現地調査を実施してまいります。</p> <p>なお、踏査実績等の結果については図示し、準備書でお示しさせていただきます。</p>
22	江成	動物	調査・予測・評価の手法	<p>カメラトラップは各回、2～3日程度設置するとありますが、調査努力量が圧倒的に少なすぎます。</p> <p>どの程度の調査努力量が(各季節で)必要かは、すでに情報がたくさんあるので、それらを参考にされると良いかと思えます。</p>	<p>哺乳類のカメラトラップについては、捕獲が困難な中大型哺乳類の動物相把握を目的としております。ご意見にありますとおり、既存の調査手法を参考に設置日数を再度検討してまいります。調査目的及び文献その他の資料調査で得られた既存情報を踏まえて、フィールドサイン調査結果も併せて、当該地域の中大型哺乳類の動物相の把握に努めてまいります。</p>
23	江成	動物	調査・予測・評価の手法	<p>このような評価で、「対象事業区域の変更区域と大きく重複していないので影響は小さいと考える」と回答する事業者がありますが、そもそも工事を実施している段階で、変更区域の周辺においても影響が発生している。そのため、これら哺乳類(爬虫類や両生類も)に対して、どの程度、影響が出るのか、数値で示す必要があります(生息適地がどの程度消失するのか、モデルを用いて計算する等)。</p> <p>さらに、哺乳類等の「該当種の行動範囲」はどのように調査するのか、説明してください。</p>	<p>重要な動物種に関して、変更による生息環境の減少率等を準備書でお示しさせていただきます。特定個体群の行動範囲を把握する調査を希少猛禽類において実施してまいります。哺乳類については既存の生態情報を参照することや、必要に応じて専門家への聞き取りを行い、適切に調査結果を分析することを考えております。</p>

環境影響評価方法書に関する質問等
 (仮称)新潟関川風力発電事業 東急不動産株式会社

No	員委	分類1	分類2	質問・意見	回答
24	江成	生態系	注目種選定	注目種選定の基準を説明してください。上位性種は行動圏が広く、大型哺乳類であるクマも入るかと思ます。	ご質問にもありますとおり、ツキノワグマも行動圏が広く、生態系の上位に位置する種であることは認識しておりますが、行動範囲について個体差が大きいことや、ブナ等の種子の結実具合の年変動が大きいこと、他の動物種よりも調査に危険が伴うことから、選定の対象としておりません。 イヌワシやクマタカも行動圏が広い種ではありますが、行動圏等の生態についての研究が比較的多くされており、風力発電所の建設とイヌワシ・クマタカの保護に関する環境アセスメントガイドラインが行政機関から複数示されているため、選定種の対象としております。
25	江成	景観	バードストライク対策	「衝突リスクが相対的に高い立地があった場合には、・・・、その風力発電機については視認性を上げる措置を講じる」とあり、「風力発電機の塗装色を自然になじみやすい色(環境融和塗色)で検討する」、「風力発電機の塗装色を自然になじみやすい色で検討する」とあるが、この矛盾について説明してください。	風力発電機の塗装色を自然になじみやすい色(環境融和塗色)で検討し、バードストライク対策が必要な場合には、当該地域においてより環境保全効果の高い塗色とともに、主要な眺望点からの風力発電機の見え方も考慮した、バードストライク対策の塗装等を検討してまいります。
26	池田	人と自然との触れ合いの活動の場	調査・予測・評価の手法	越後米沢街道・十三峠(大里峠)のエリアの状況調査については、関係市町村をはじめ、当該地域で活動しているNPO法人などにも聞き取り調査をしてほしい。	関係市町村をはじめ、本事業の対象事業実施区域の周囲で活動されている団体等への聞き取りに努め、本事業の実施によって生じる可能性のある影響を極力回避・低減するよう検討してまいります。
27	内田	廃棄物等	残土	残土が発生した場合、対象事業実施区域内における残土処分地として想定している場所を教えてください。	今後の現地測量や現況調査等による詳細設計を踏まえて残土処分場の位置を検討し、準備書以降でお示しさせていただきます。